

鉄道に関する意識調査

-鉄道の安全性/地方鉄道の存在効果-

(Questionnaire Survey to the Public
- Railway Safety, Existence Effect of Local Railways -)

【概要】

鉄道を取り巻く環境を把握し、鉄道の将来像や解決すべき課題を探究していくことを目的とした調査の一環として、鉄道の安全性と地方鉄道の存在効果に関するアンケートを実施しました。

【調査方法】

2014年12月にインターネットによるアンケート調査(表1)を実施しました。

表1 調査対象とデータ数

調査項目	調査対象		データ数
	地域	年齢	
安全性に関する調査	47都道府県	20～60歳代	4,168
地方鉄道の存在効果に関する調査	地方鉄道108路線 (含JR)の沿線市町村	15～85歳	4,922

【鉄道の安全性に関する調査】

鉄道の安全性に関する意識について、図1に示す結果を得ました。

質問1: 鉄道の安全対策について、取り組みが行われていると感じるものを選んでください。

質問2: 鉄道の安全対策について、取り組むべきと感じるものを選んでください。

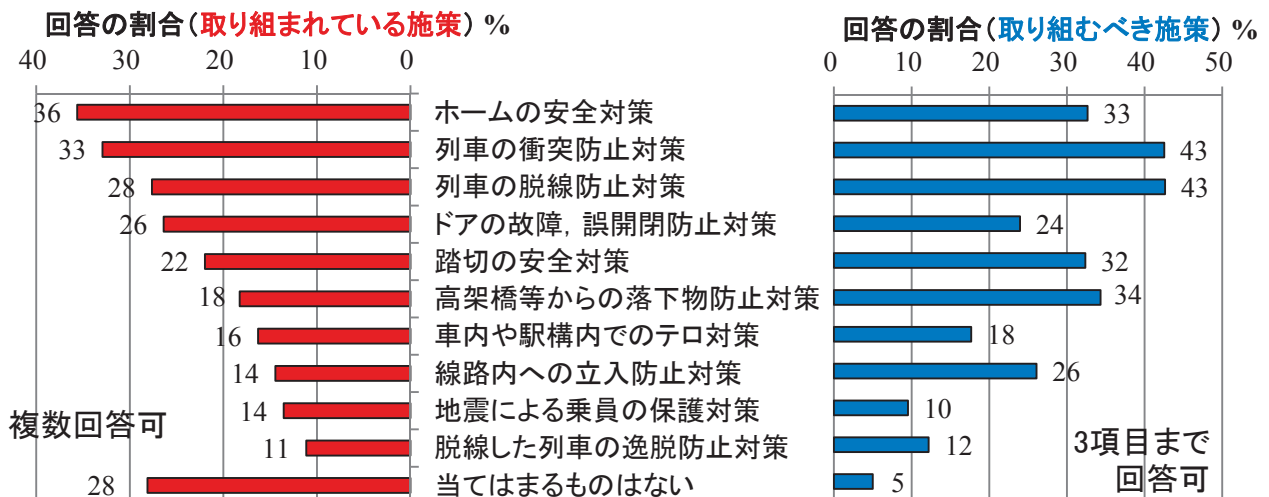


図1 鉄道の安全性に関する意識調査結果

【鉄道の安全性に関する調査結果】

- ホームの安全対策や列車の衝突防止対策は、30%以上の回答者が取り組みを感じています。特にホームの安全対策は関東地方で効果を感じる人が多い傾向でした。
- 車両や設備の安全性の向上やホームや踏切の安全対策は、取り組みの必要性を感じる人が多くいました。これらは今後も技術開発を継続して、さらに深度化させることが重要です。
- 鉄道事業者の取り組みに理解を深めて頂くために、取り組みの内容を積極的に発信していくことも大切です。

【地方鉄道の存在効果に関する調査】

地方鉄道の存在効果に関する意識では、図2に示す結果を得ました。

質問: お住まいの市町村内にある鉄道について、あなたご自身の評価や考え方のうち、当てはまるもの一つをそれぞれ選んでください。

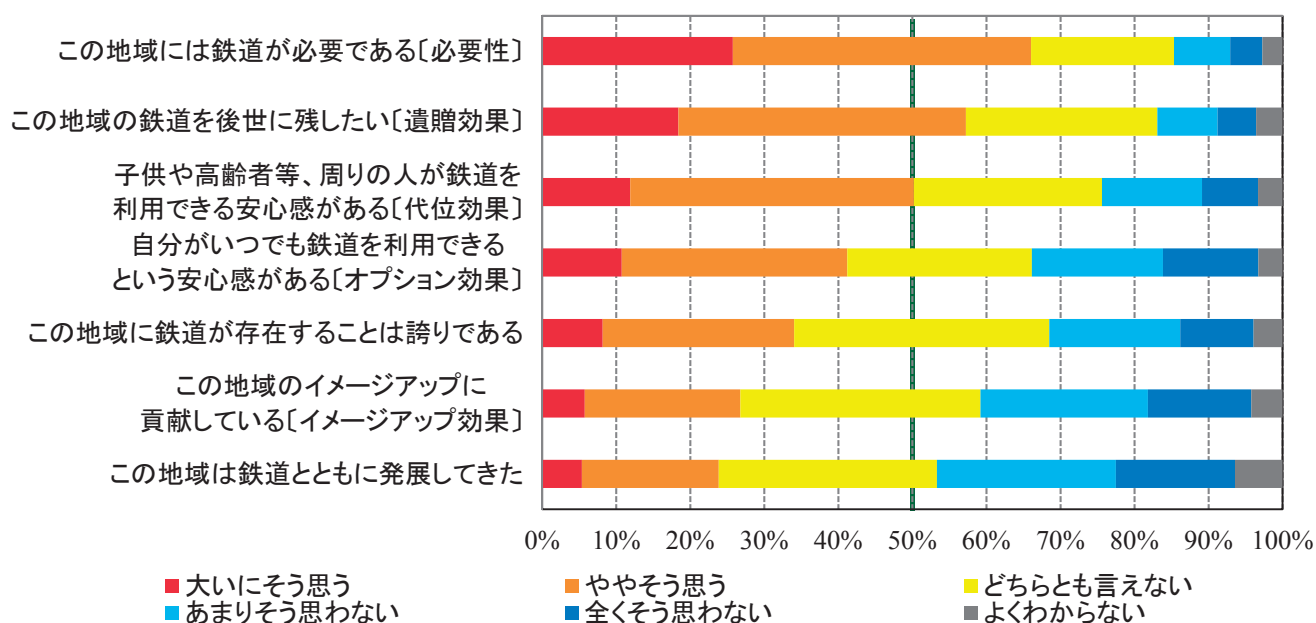


図2 地方鉄道の存在効果に関する意識調査結果

【地方鉄道の存在効果に関する調査結果】

- 必要性、遺贈効果、代位効果では、肯定的評価(大いにそう思う+ややそう思う)が過半数を占め、オプション効果では、肯定的評価が否定的評価(あまりそう思わない+全くそう思わない)を上回りました。
- イメージアップ効果では、否定的評価が上回りました。

【展開】

企画室戦略調査担当では、安全、環境、交通経済分野を中心に国民の意識調査を定期的に行い、鉄道事業に対するニーズ把握に努めています。



公益財団法人鉄道総合技術研究所
企画室 戦略調査